

2010年4月8日

報道機関各位（お知らせ）

財団法人逸翁美術館  
阪急電鉄株式会社

## 小林一三記念館が2010年4月22日（木）にオープンします！

財団法人逸翁美術館では、阪急電鉄、阪急百貨店、東宝の創業者である小林一三（雅号：逸翁（いつおう））の自邸「雅俗山荘（がぞくさんそう）」を「小林一三記念館」として、2010年4月22日にオープンします。

逸翁美術館は、1957年の開館以来50有余年にわたり、小林一三が自ら収集した美術品等のコレクション約5,000点を「雅俗山荘」等において公開してまいりましたが、昨年10月、小林一三が生前に「一都市一美術館」を提唱し、仮称「池田美術館」の建設を計画していました場所に移転し、装いも新たに開館しました。

そこで、美術館移転後の「雅俗山荘」は、昨年、文化庁より「雅俗山荘」、茶室「即庵（そくあん）」及び「費隠（ひいん）」、正門「長屋門（ながやもん）」及び「塀」が、国指定の登録有形文化財に指定されたのを機に、当時の小林一三の自邸の状態に復元した上で、「小林一三記念館」として公開します。鉄道業だけでなく住宅開発、宝塚歌劇、映画、演劇等事業を数多く生み出し多方面で活躍した起業家小林一三の華麗な軌跡を、当時の資料や写真、映像、ジオラマ等で紹介します。また、茶人逸翁が工夫を凝らした茶室や四季の花々が美しい庭園を散策したり、「邸宅レストラン雅俗山荘」でゆったりとお食事をしたりと、今までにない新しいかたちの記念館としてお楽しみいただけます。

概要は次のとおりです。



「小林一三記念館」外観

### 「小林一三記念館」について

1. 開館日 2010年4月22日(木)
2. 営業時間 10時30分～16時30分(受付終了は16時)
3. 定休日 月曜日(祝日の場合は翌日)
4. 入館料 逸翁美術館入館料共で1,000円(記念館のみの場合は300円)
5. 所在地 池田市建石町7-17 (TEL 072-751-3865)  
阪急宝塚本線池田駅から北へ徒歩約13分
6. 敷地面積 3,246.53㎡
7. 建築面積 1,169.20㎡
8. 延床面積 1,997.98㎡  
(常設展示場 1,726.98㎡/レストラン 271.28㎡)
9. 建物構造 鉄筋コンクリート造、地上2階地下1階
10. 構成 常設展示室(雅俗山荘第1展示エリア～第3展示エリア、白梅館エリア)、  
特別展示室、シアタールーム、書斎等居宅部分、駐車場(10台)

### 「邸宅レストラン雅俗山荘」について

小林一三の旧邸と附属建物の中で、小林一三が過ごした空間を共有し、古典的な落ち着いた雰囲気の中で、厳選された旬の食材を集め、洗練されたクラシカル・モダンの魅力的な新しいフランス料理をお召し上がりいただけます。

1. 営業時間  
ランチ 11時30分～14時30分  
喫茶 14時30分～17時00分  
ディナー 17時00分～21時00分
2. 定休日 月曜日(祝日の場合は翌日)
3. 客席数 30席
4. 電話番号 072-751-1333

### 「第1回特別展 小林一三と松下幸之助の交友」について

鉄道業を中心に演劇、ホテルなどの事業を起こした小林一三。様々な家庭用電気製品を生み出した松下幸之助。「大衆の生活向上」との志で結びついた、関西が生んだ実業界の巨星ふたりが歩んだ道とその交友の記録を、当時の貴重な資料とともにご紹介します。

#### <ご参考>「逸翁美術館」について

財団法人逸翁美術館は、阪急電鉄の創業者である小林一三翁の雅号「逸翁」を冠して館名とし、旧邸「雅俗山荘」をそのまま展示の場として、1957年10月に開館しました。小林一三が20歳代から収集したコレクションは、古筆、古経、絵巻、中近世の絵画(特に蕪村・呉春・円山四条派の作品)や、国内はもちろん中国・朝鮮・オリエント・西洋を含む陶磁器、日本・中国の漆芸品など、5千点にもものぼる美術工芸品を展示していましたが、昨年10月に「雅俗山荘」の西約150m移設しました。年数回の企画展開催の期間のみ開館しています。

#### 【ニュースリリース配布先】

青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、池田市政記者クラブ、豊中市政記者クラブ、宝塚市政記者クラブ

#### 【添付資料】小林一三記念館常設展示概要、所在地、小林一三記念館平面図

##### このお知らせに関するお問い合わせ先

財団法人逸翁美術館	072-751-3865
阪急電鉄株式会社 広報部	06-6373-5092

## 【添付資料】小林一三記念館常設展示概要

### 雅俗山荘展示室

小林一三の生い立ち、生まれ育った生家、池田の自邸「雅俗山荘」の解説や趣味の茶の湯、美術品の収集など人間味あふれる小林一三の姿を紹介します。また、小林一三が工夫を凝らした茶室「即庵」「費隠」「人我亭(にんがてい)」や、春はさくら、秋はもみじが楽しめる庭も散策できます。

#### <主な展示内容>

- 第1展示エリア(1階) 小林一三の略歴、誕生と生い立ち、生家の模型
- 第2展示エリア(2階) 「第1回特別展 小林一三と松下幸之助の交友」(4月22日~8月1日)
- 第3展示エリア(2階) 収集家 小林一三、逸翁(一三)が自ら収集した美術品の紹介、茶人 小林一三、茶友 五島慶太氏等茶友の紹介、一三語録、逸翁美術館・池田文庫の紹介、など

### 白梅館展示室(別館1階)

鉄道業にはじまり、宝塚歌劇、百貨店、映画、演劇など数々の事業を興した小林一三の足跡を紹介します。また、東京田園調布の開発や東京電燈の再建、政界への進出など、あまり知られていない東京での活躍なども展示。

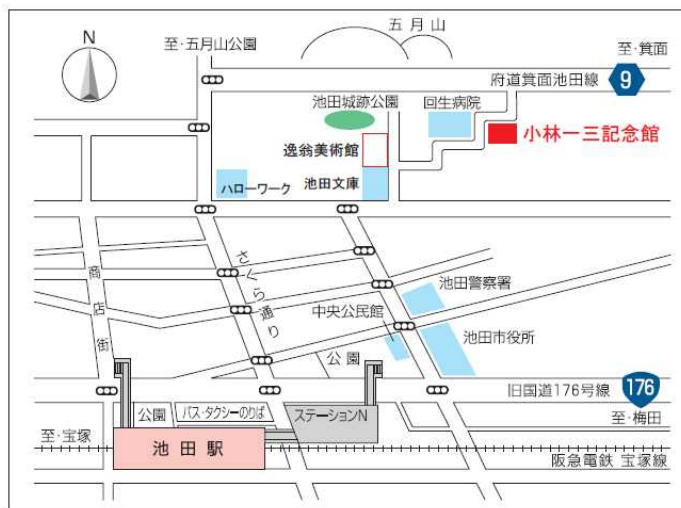
映像で解説する阪急沿線の巨大ジオラマや、小林一三翁をキャラクターにした「一三さん」が解りやすく質問に答えるQ&Aのコーナーも設置します。

#### <主な展示内容>

##### 阪急沿線巨大ジオラマ

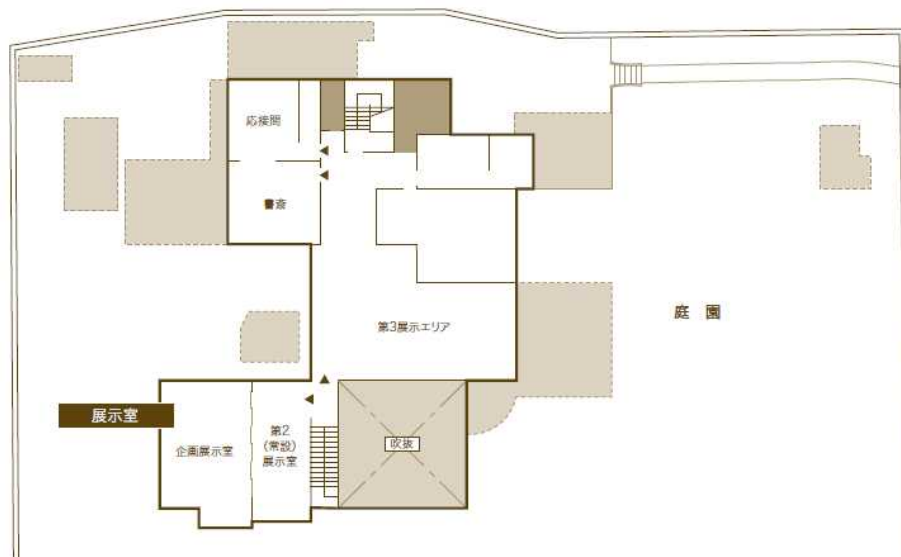
三井銀行時代の一三、箕面有馬電気軌道の設立、京阪電気鉄道との合併、民鉄界初の沿線住宅開発、宝塚の観光開発、日本初のターミナルデパートの開発、宝塚歌劇のはじまり、全国高等学校野球大会発祥の地豊中グランド、商工大臣就任等政界進出、東京田園調布の開発、東京電燈(現東京電力)の再建、など  
「一三さんと語ろう」のQ&Aコーナー  
シアタールーム「小林一三の歩んだ道」

#### 小林一三記念館所在地



【添付資料】小林一三記念館平面図

2 階



1 階

